



丸の内周辺風景

財務基盤の強化等を通じ、 高い健全性を維持しています。

ソルベンシー・マージン比率

945.5%

ソルベンシー・マージン比率とは、株価の暴落など通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つです。この数値が200%を下回った場合は、監督当局による業務改善命令等の対象となります。

実質純資産額

9兆5,639億円

実質純資産額とは、有価証券や不動産等を時価評価した資産から、ご契約にかかわる各種負債等を差し引いたものであり、保険会社の健全性の状況を示す行政監督上の指標の一つです。また、平成28年度末における当社が保有する株式の含み損益がゼロとなる水準は、日経平均株価で8,000円程度となりました。

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)

4兆5,288億円

EEVとは、生命保険会社の企業価値を表わす指標です。スタンコープ社の完全子会社化に伴い、平成27年度決算のEEVより、スタンコープ社のEEVを含めています。

個人保険の配当率を一部引き上げます

当社の個人保険の配当は、内部留保積立とのバランス、企業価値の状況もふまえ、中期的に安定した配当をより多くのお客さまに還元する方針です。これらをふまえ、平成29年度にお支払いする配当は、総合保障商品にご加入のお客さまを中心に配当率を一部引き上げます。

* 上記の配当還元にあたり、平成29年7月の総代会決議を経て、平成28年度未処分剰余金のうち、1,698億円を社員配当準備金として、繰り入れる予定です。

【配当金例】 ライフアカウントL.A.(3年ごと利差配当タイプ)

- 40歳加入・70歳払込完了・男性・月掛(口座振替料率)
- 積立終身部分(アカウント)保険料1,000円、新・生活サポート特約(終身型)(基本年金額240万円)、遺族サポート特約(死亡保険金額600万円)、新・入院特約(入院給付金日額5,000円)

経過6年(46歳)	平成29年度支払配当	
	引き上げによる影響額	
	12,916円	3,120円

* 上記の配当金例はご契約の一例であり、ご契約の内容によって、お支払いする配当は異なり、ゼロまたは少額の場合もあります。

格付

格付会社から、高い評価を得ています。

格付とは、会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表わしたものです。

(平成29年5月1日現在)

*「保険金支払能力」「保険金支払能力格付」は、保険会社の保険債務が約定どおりに履行される確実性についての意見です。「保険財務格付」は、保険契約に基づく優先債務を遅滞なく履行する保険会社の能力に関する意見です。「保険財務力格付け」は、保険契約の諸条件に従って支払いを行なう能力に関して保険会社の財務内容を評価した意見です。*右記の格付は、当社が依頼して取得したものです。*記載の格付会社は、金融庁の登録を受けた信用格付業者です。*格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません。*格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

格付投資情報センター(R&I)
保険金支払能力

AA-

日本格付研究所(JCR)
保険金支払能力格付

A+

ムーディーズ(Moody's)
保険財務格付

A1

スタンダード&プアーズ(S&P)
保険財務力格付け

A

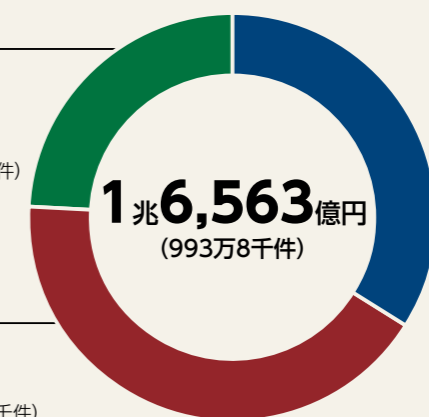
お役に立った保険金・年金・給付金

1兆6,563億円

平成28年度にお支払いした保険金・年金・給付金の合計額は、1兆6,563億円、1日あたりのお支払いは約45億円でした。これからも確実・迅速なお支払いに努め、お客さまのお役に立てるように確かな安心をお届けします。

給付金
3,964億円
(290万9千件)
うち入院給付金・手術給付金
512億円(58万4千件)

年金
6,952億円
(681万9千件)
うち個人年金
4,168億円(70万2千件)



保険金
5,647億円
(20万9千件)
うち死亡保険金
3,745億円
(10万1千件)

(平成28年度)